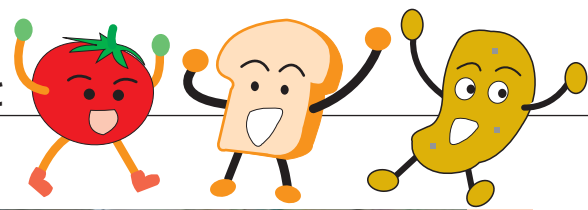


食べることは、すべてのみなもと



久代幼稚園のお弁当の日。子どもたちのお弁当には、元気に大きくなってほしいという愛情たっぷりのおかずがぎっしり。「ハウレンソウ食べれるよ」「レタスが好き」「お肉も大好き」などと、みんな口々に大好きなお弁当について教えてくれた

旬のもの

よもぎもちには、柔らかい早春の若芽のヨモギがいいともいわれる。野に出てみよう。少しずつ春の訪れを感じられる時期になってきた



ヨモギとよもぎもち

食育は、新しいことでも、むずかしいことでもありません。毎日の生活のなかで、食べることを少し大事に考えましょうということ。食育は家族への愛情、自分の体への愛情があれば大丈夫です。例えば、「好き嫌いのない子にするには、小さいときから何でも食べさせる」、「料理ができるようにさせたいと思えば、小さいときからいっしょに料理をする」、「よい食習慣を身に付けさせたいなと思えば、家族みんなで食卓を囲む」、「家族みんなが健康で過ごせるようにと、食事づくりに配慮する」など、これらはすべて家族や体への愛情があればこそです。特に、子どもは体験をしないことには始まりません。忙しいなかでも少し「食」に関わる時間がもたらうれしいですね。

体はもちろん、心の健康にもつながる「食育」のはじまりは、「愛情」です！



◎割り箸の使用は控え、マイ箸を使うようにしましょう。

市内の組織率は12.6%

～自主防災組織の結成を～

大地震や洪水などの大規模な災害時、避難や救出活動は一刻を争います。しかし、災害発生直後に、消防や警察がどこまで迅速な対応ができるかはだれにも分かりません。そのときには、地域の皆さんが、自ら救出活動などを行うことが大切です。また、避難するときも集団で行動することで、お年寄りや子どもたちを守ることができます。今、こうした地域の住民が相互に守りあう共助が求められているのです。

現在、市では町内会などを基本単位とする「自主防災組織」の結成を広く呼び掛けています。しかし、総社市の組織率は12.6%で、岡山県の44.2%、全国平均の64.5%と比べてたいへん低い状況にあります。

自主防災組織の結成により、各地域で防災資器材の購入や消火訓練などの実施、そして何より地域の皆さんが自分たちに何ができるか、もしものときに何をすべきかをいっしょに考えていくことができます。

神在の上原地区の組織では、地域の防災地図や防災電話帳を作成しています。こうした活動には、市から自治組織活性化支援補助金が交付されます。自分たちの手で自分たちの地域を守る自主防災組織、あなたの地域でもつくってみませんか。



上原地区の防災のしおり



2月3日、消防庁舎で開かれた「みんなで防災」講演は、自主防災組織の必要性を考える機会となった

↓点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

市 民 憲 章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

1 郷土を大切に

美しい環境をまもりましょう。

1 生涯学び

明るい家庭をきずきましょう。

1 たがいに助け合い

あたたかいまちをつくりましょう。

◎市の花/れんげ

◎市の木/もみじ

◎市の鳥/タンチョウ

協働のまちづくり
現場から

最後の膳

食育の基本

愛情に包まれた「食」が一番